

# ぱす ニュース

発行日  
2021/12/15

発行元  
クリニカルバス委員会

## ～クリニカルバス大会開催報告～

2021年11月11日(木)16時より、外来棟5階講堂で、2021年度クリニカルバス大会が開催されました。



今回は、4階東病棟からCOVID19のクリニカルバスについて、5階西病棟からバスに対しての現状と対策について発表をしていただきました。

発表者は呼吸器内科の四十坊先生と吉田看護師、整形外科の館田先生と細川看護師です。

最初に、四十坊先生から「新型コロナウイルス感染症(COVID19)の現状と対策」と題して、説明がありました。COVID19の経過、重症化しやすい症例、基礎疾患、懸念される変異株、当院における入院状況の説明がされ、実際の症例の紹介もありました。

このあと吉田看護師から、COVID19の2種類のバス(①21日入院(70歳以上)②15日入院(69歳以下))の2020年4月～9月までの195症例(正:75件、負78件)のバリエーション分析・結果が報告されました。

最初にバス作成についての説明があり、バリエーション分析と治療薬についての説明がありました。高齢者が多くなると負のバリエーションが増え、第5波で平均年齢低下と治療法の確立により重症化のリスクの回避ができ、クリニカルバスの入院期間内で退院することができたとの分析がされました。また防護服着用でコミュニケーションがはかりづらい、夏場は暑く疲労が倍以上というご苦労も聞かれました。



続いて配布のDVDでは館田先生から人工関節置換術についての説明映像があります(DVDをご参照下さい)。次に細川看護師から「5西病棟の現状と対策」と題して、まず現在使用のバス(消化器内科・整形外科・口腔外科)の紹介がありました。バスのユニットが重複していた、PCバスに患者バスが移行されていなかったなどの問題点があり修正する事になったとの現状が紹介されました。対策としてバスに関与するスタッフを増員したことで業務分担され負担が軽減し、不具合や修正点に早期に対応できるようになったという報告がされました。今後は業務改善を継続していき、修正やバリエーション分析を行っていくとの事です。

クリニカルバス使用後は、毎月バリエーション集計を行っており、どのようなバリエーションが発生しているかを分析し、必要時にバスの修正を行っています。今後もバス委員だけでなく、病棟の皆さんと多職種協力し合い、意見を出し合っより良いバス作りを目指していきたいと思っております。

発表者の方にはお忙しい中で資料をまとめ、この大会に向けて尽力を頂き有難う御座いました。尚、12/9の委員会議事録は後程配布致しますので併せてご覧ください。



先陣は四十坊院長の発表から



質問中の長谷川委員長



熱心に発表を聞くメンバー



### クリニカルバスとは？

スケジュール表(バス表)を利用して医療の介入内容を最適化したもので、評価・改善を行うことで医療の質を向上させるマネジメントシステムです。

簡単に言えば、投薬・検査・処置・リハビリ・食事等の行為を効率よく組み合わせた予定表であります。

### 言葉の説明

- ①アウトカムとは？=目標患者のアウトカム
  - 例)食事が摂取できる、傷が治癒する。
  - 例)炎症値(CRP)が陰性になる。
  - 例)歩行器で病棟歩行が自立できる。
- ②バリエーションとは？
  - =目標が達成できない状態のこと(クリニカルバスの予定とずれた結果のこと)
  - 患者バリエーション
    - 例)食事が開始できない
    - 例)歩行器歩行が開始できない
    - 例)点滴が終了できず数日間延長となった
    - 例)食事が1日早く開始された。
    - 例)予定より2日早く退院した

### 参加人数：18名

#### ～纏集録記～

2021.11月開催予定でしたが、コロナのため中止になっていたバス大会を再開し無事に終えることができました。

今回は感染リスクを考えて、バス委員のみの出席としました事をご了承いたします。

次回は来年2月を予定しておりますが、今度は通常どおり多くの方が参加出来る大会になる事を委員一同切に望んでおります。

バス委員会 広報